

NEWS RELEASE

2025 年 2 月 25 日
西日本旅客鉄道株式会社

サステナビリティボンドの発行について

西日本旅客鉄道株式会社（以下「当社」）は、「JR西日本グループ中期経営計画 2025」で掲げたサステナビリティ経営の実現に資する事業の資金調達のため、サステナビリティボンド（以下「本社債」）を発行します。

当社グループは、社会インフラを担う企業グループとして、長期ビジョンに「安全、安心で、人と地球にやさしい交通」や「持続可能な社会」を掲げ、環境をはじめとするサステナビリティの取り組みを推進しています。

サステナビリティボンドの発行により、当社グループの取り組みを幅広いステークホルダーの皆様に認知いただくとともに、環境にやさしい輸送手段である鉄道の強みをさらに磨き、持続可能な社会づくりを進めることで、人、まち、社会のつながりを進化させていきます。

記

1. 発行概要

年 限	10 年（予定）
発 行 額	100 億円（予定）
発 行 時 期	2025 年 3 月（予定）
資 金 使 途	新型鉄道車両の導入
主幹事証券会社	S M B C 日興証券株式会社 大 和 証 券 株 式 会 社

2. フレームワークの策定および外部評価（セカンドオピニオン）の取得

本社債の発行にあたり、国際資本市場協会（ICMA）の「サステナビリティボンド・ガイドライン」等に即したサステナビリティファイナンス・フレームワークを策定しました。

また、本フレームワークがサステナブルファイナンス等に係る各種原則・ガイドラインに適合していることについて、株式会社格付投資情報センター（R & I）よりセカンドオピニオンを取得しています。

3. 調達資金の使途

本社債の発行による調達資金は、以下の新型鉄道車両の導入費用の一部として充当します。

対象プロジェクト	環境改善・社会的効果
在来線新型車両の導入 •225 系近郊形直流電車  •227 系近郊形直流電車  •273 系特急形直流電車 	[エネルギー効率の向上・省エネ化] ✓ブレーキ時のエネルギーを最大限に回生し、電気エネルギーに換えるエネルギー変換効率に優れたVVVF制御装置や一部車両には更にエネルギー損失の少ない次世代半導体「SiC素子」の駆動システムを採用することにより、エネルギー消費が改善 ✓室内灯LED照明の採用、LED式車内表示装置など省エネ型設備を採用することで省エネ化を推進 [安全性・快適性・利便性の向上] ✓防犯カメラの設置による車内セキュリティ向上 ✓脱線などの異常を検知した際に、自動的に緊急停止・列車防護（近隣の列車を止める）する車両異常挙動検知装置 ✓万一の衝突の際の客室・乗務員室の衝撃を吸収する構造 ✓とっさの際につかまりやすい形状、色調の吊手・手すり ✓バリアフリースイレ、車椅子スペース、ドア開閉ランプといったバリアフリー設備の充実
新幹線新型車両の導入 •N700S 新幹線電車 	[エネルギー効率の向上・省エネ化] ✓走行抵抗を低減した先頭形状（デュアルスプリームウィング形）の採用や、次世代半導体「SiC素子」の駆動システムの採用により、エネルギー消費が改善 [安全性・快適性・利便性の向上] ✓ATCとブレーキシステムの改良により地震時のブレーキ距離を短縮 ✓大容量データ通信の実現により、詳細な機器データの取得・分析が可能となり、車両の状態監視機能が強化 ✓バッテリー自走システムを搭載することで、長時間停電時においてもお客様の避難が容易な場所まで自力走行が可能 ✓車椅子スペースの増設

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 7 番、9 番、11 番、13 番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループ

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



＜脱炭素社会実現に向けた鉄道の環境優位性の理解促進について＞

J R グループ、一般社団法人日本民営鉄道協会と一般社団法人日本地下鉄協会では日本のカーボンニュートラル実現に向けて、相対的に低炭素な輸送モードである鉄道のさらなる利用促進（モーダルシフト）をめざすとともに、鉄道の環境優位性に対する社会的な理解促進のため、共通ロゴマークとスローガンを掲げて、鉄道業界一丸で P R に取り組んでいます

〈詳細ページ〉 https://www.westjr.co.jp/company/action/env/switch_sustainable_train



Switch!
SUSTAINABLE
TRAIN